

2019年（令和元年）12月18日（水曜日） (4)

戸田建設利友会、向井建設ら 田無工高で出前講座 ものづくりの楽しさなどPR



戸田建設の協力会社で組織する利友会のリクルート部会と向井建設（東京都千代田区、遠藤和彦社長）、榊組（東京都府中市、榊仁社長）は13日、東京都立田無工業高校で出前講座を行った。写真。クレーンによ

る安全な揚重作業などを通じて、ものづくりの楽しさや達成感を体験してもらった。

出前講座に参加したのは建築科、都市工学科、機械科の2年生約80人。2班に分かれ、屋内学習で揚重物をバランスよくつり上げる原理、屋外実習ではクレーンによる安全な揚重を学んだ。

出前講座の実施に当たってあいさつした遠藤社長は、建設業界の役割を「安全・安心で豊かな暮らしを支える」ことだとし、そのために「努力している」との思いを強調。建設工事は何も無い状態から道路、橋、

建物といった大きなものを作る「魅力ある仕事」であり、出前講座を通じて「効率よく工事を進めるための揚重について学んでほしい」と述べた。

屋内学習では、戸田建設東京支店の平聡嗣建築管理部兼建築工務部部長が「応用力学の基礎」、榊社長が「バランスを考える」をテーマに講義。屋外実習では向井建設の社員が指導し、ユニック車を使いながら揚重時の合図や玉掛け作業などを体験した。

講義の聴講と作業体験を通じて生徒たちは、自分の将来に関わる仕事を肌で感じる貴重な機会を得た。